

本興寺 参拝マップ



きやくてん
客殿



だいくどう
大黒堂



べんてんどう
弁天堂



さんじゅうばんじんどう
三十番神堂



ちゅうれいとう
忠霊塔



星野立子句碑

花の寺静かな人出中に歩す



北原白秋歌碑

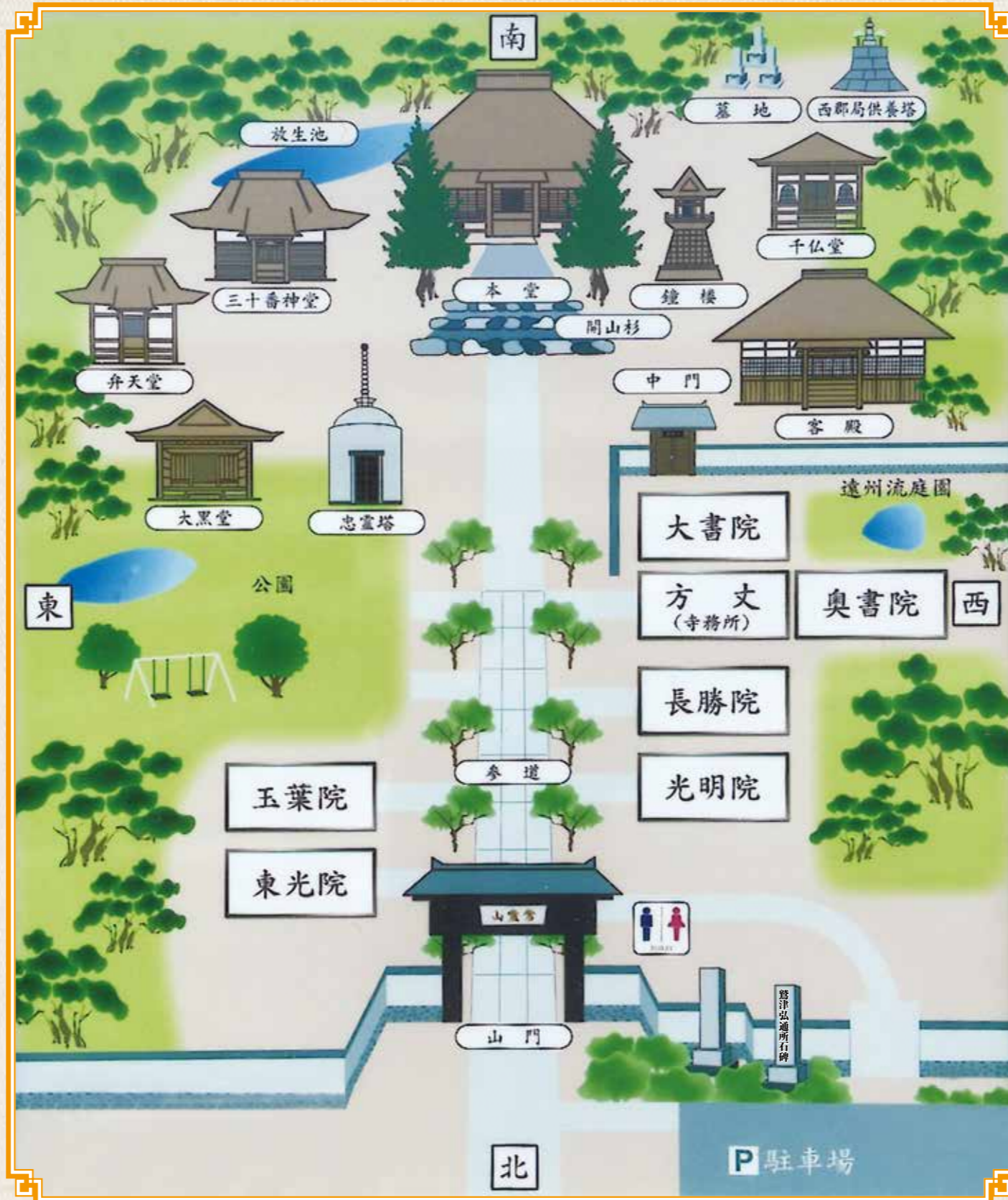
水の音ただにひとつぞきこえける
そのほかはなにも申すことなし

こぼりえんしゅうりゅう
小堀遠州流庭園と奥書院



たにのぶんちよう
谷文晁
ふすま絵のある上段の間

七堂伽藍と幽玄な空間



本興寺においでん

「おいでん」とは湖西弁で「いらっしやい」のこと

四月二十八日に本山本興寺では、日陣尊聖人
六百御遠忌・落慶大法要が行われます。



かいさんすぎ
本堂と開山杉



しょうろう
鐘楼



お墓の奥にある西郡局供養塔



子育て幽霊

その昔、臨月に近い頃に、苦しんで亡くなった若い女がおりました。家族のものは悲嘆にくれ、箕輪の「おと山」というところにお墓を建て、ねんごろに葬りました。

同じ村に一件の古い飴屋がありました。その飴を滋養飴といました。

その飴屋へ、その頃から毎晩、飴を買いに来る見なれない若い女がおりました。無駄口ひとつきくでもなく、そつと来ては音もなく去って行くのでした。

不審に思った主人はある夜、その女の後をつけて行きました。おと山の墓地の中ほどまで来た時、その女の姿はふっと消えてしまいました。不思議に思っ探していると、小さな穴を見つけました。

子育て飴

昔ながらのきなこ味



「大津屋」

053-576-0070

翌朝、村の人たちと来て

その穴を掘りました。すると、中から丸々と太った赤子が出てきました。まわりには、いくつもの飴の空袋が散らかっていました。

飴屋たちはさっそく、先日亡くなった女の主人に赤子を届けました。「おう、たしかに私の子だ。では死んだ妻が」と言っ主人は涙を流して喜んだそうです。この子はその後、すくすく成長し、本興寺第十七世日観上人(十七世紀末頃)になられたとのこと。



文晁もなかと酒饅頭



「三ツ輪屋」
053-576-2322



本興寺は別名を文晁寺と呼ばれている

豊田佐吉記念館 —トヨタ自動車のルーツ—

寺から車で5分



浜名湖 —風光明媚な汽水湖—

湖畔まで歩いて10分



遠州灘と潮見坂 —どこまでも続く砂浜—

寺から車で15分



新居関所 —東海道五十三次—

寺から車で10分

